

Run No.23 2021.2.20

らんらん

男女共同参画社会づくり情報誌



藤枝女性防災ネットワーク、男女共同参画地区推進員啓発事業、授乳・おむつ換えテント設置の様子

目次

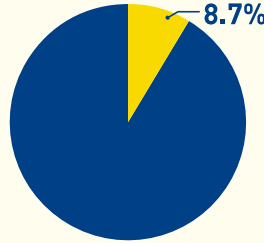
特集 みんなの防災・みんなで防災 ～女性の視点を活かした備え～

| | |
|--------------------------|-------|
| 「地域防災」について考える | P 2～3 |
| 「身近な防災」について考える | P 4～5 |
| 女性活躍推進企業セミナー | P 6 |
| 藤枝市の男女共同参画推進事業所の紹介 | P 7 |
| コラム・編集後記 | P 8 |

東日本大震災をはじめとするこれまでの災害においては、様々な意思決定過程への女性の参画が十分に確保されず、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといった課題が生じました。年齢や性別にとられない地域の避難所づくり、その運営には若い人も女性も地域防災の担い手になる事が大切です。

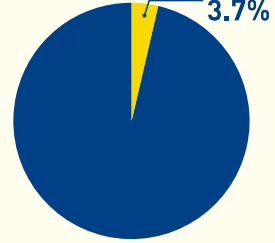
防災分野への女性の参画状況 (R2.4.1 現在)

藤枝市の防災会議に占める女性委員の割合



■ 男性:42人 ■ 女性: 4人 (県男女共同参画施策推進状況調査)

藤枝市の消防団に占める女性団員の割合



■ 男性:553人 ■ 女性:21人 (県消防団の組織概要調査)

みんなできつろう みんなの避難所

避難所は地域の人の手で運営していきます。
地域の人たちの話し合いで、快適な避難所づくりを計画していきましょう。

みんなで話し合っ て決めることが大切

防災計画や防災訓練、避難所運営などは男性も女性も様々な立場の人たちもみんなに参加し、話し合っ て決めていきましょう。

多様な人たちがリーダーになる

多様な人たちが、多様な困りごとを見つけ出し、個人の能力、才能、特技を活かしてリーダーシップをとり、誰もが安心できる避難所を運営できるようにしていきましょう。



男女共同参画の意識を常に持ちましょう！！

藤枝市の取組 "女性リーダーの育成"

「藤枝女性防災ネットワーク」

防災活動の場において活躍している女性地域防災指導員、災害ボランティアコーディネーター藤枝、女性消防団員、男女共同参画地区推進員などの女性の防災関係者によるネットワーク会議を立ち上げ、全5回の会議を実施しています。

今年度は、女性の視点を取り入れた「避難所生活防災リーフレット」を作成します。今後は、地域防災活動への女性の参画を促し、女性視点の防災・減災対策等に取り組み、地域防災力の更なる強化を図ります。

ホームページで取組を紹介しています

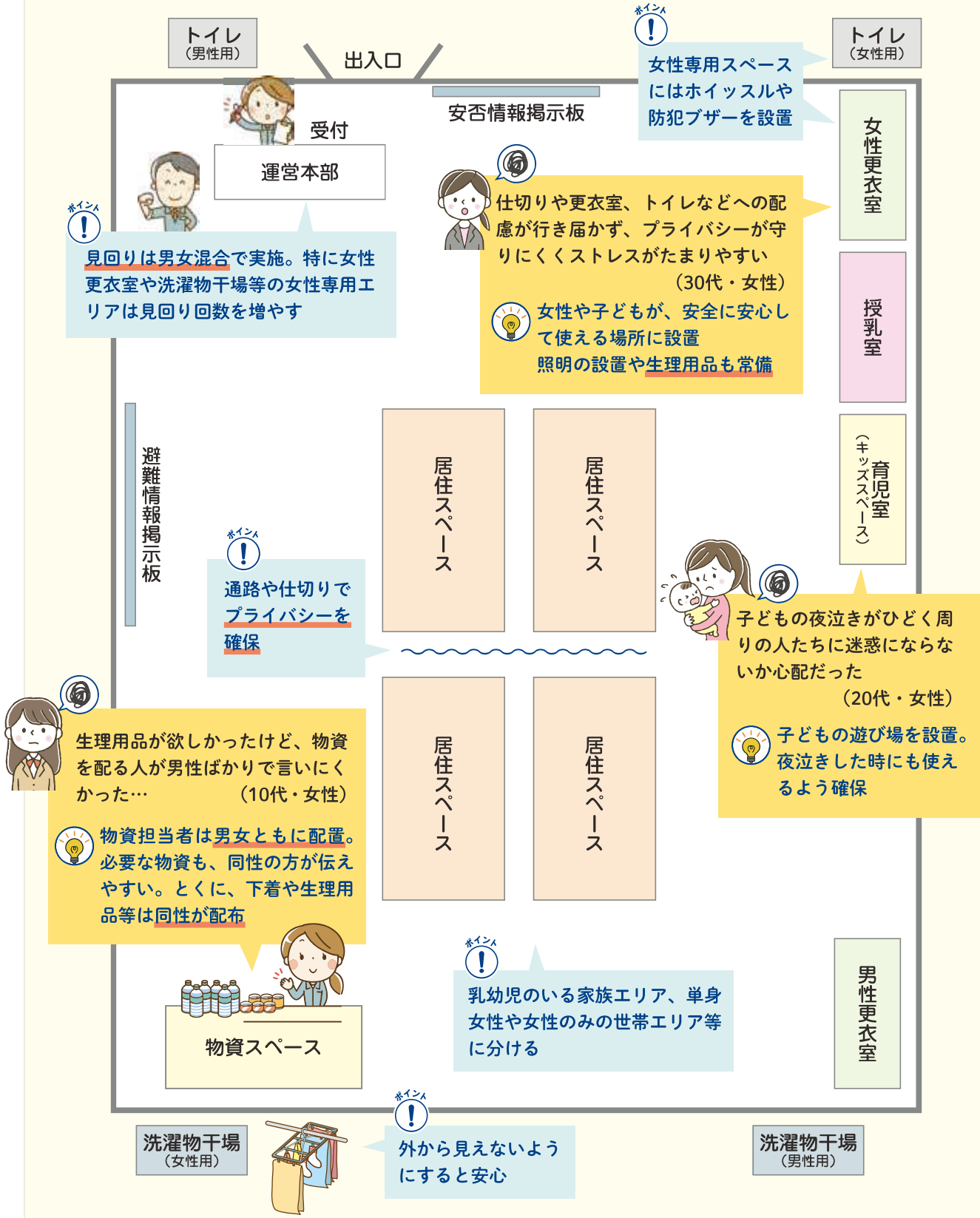




防災」について考える

誰もが安心できる避難所をつくりましょう

女性の困ったを解決していくと…



毎日の行動や習慣に ちょっとした工夫や発想を加えるだけで 日頃から

家族みんなで備える防災～「防災さんぽ」をやってみよう～



地域にどんな危険があるかを知りましょう。
(川があふれたりしないかな、ブロック塀が崩れたりしないかな)



日頃から家族で避難経路を把握しておきましょう。
(子どもは学校から、大人は職場から)



大人も子どもも一緒になって歩いてみましょう。
(色んな道を歩いて、かかる時間をみてみよう)



子どもやお年寄りの目線でチェックしましょう。
(おばあちゃんも安全に避難所まで歩けるかな)



ハザードマップを
活用しよう!

想定される被害を知っておけば、災害が発生したときに適切な行動を取ることができ、被害を減らすことにつながります。

国土地理院
ハザードマップ
ポータルサイト



藤枝市
土砂災害・洪水
ハザードマップ



非常時に「あってよかった」防災グッズをご紹介

女性目線のあってよかった防災グッズ

- | | | |
|--|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水のいらないシャンプー | <input type="checkbox"/> 保温ポット | <input type="checkbox"/> じょうご |
| <input type="checkbox"/> マウスウォッシュ | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 防臭袋、ビニール袋 |
| <input type="checkbox"/> キャリーバッグ・キャリーカート | <input type="checkbox"/> 化粧品 | <input type="checkbox"/> パンティーライナー |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ、おしりふき | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> カイロ |

いつものママバッグを非常袋に

赤ちゃんのおでかけに必要な物がセットされたママバッグは、使った分をすぐに補充しておけば非常袋に使えます!!

- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 着替えセット | <input type="checkbox"/> タオルやガーゼハンカチ | <input type="checkbox"/> スタイ | <input type="checkbox"/> ブランケット |
| <input type="checkbox"/> 紙おむつ | <input type="checkbox"/> 粉ミルク・液体ミルク | <input type="checkbox"/> おやつ | |
| <input type="checkbox"/> おもちゃ | <input type="checkbox"/> 抱っこ紐 | <input type="checkbox"/> アレルギーがある子どもへの対応食品 | |

基本の備蓄リスト

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| ● 防災リュック | ● 家のストック | <input type="checkbox"/> カセットコンロ |
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> ラジオ・電池 | <input type="checkbox"/> ライト・ランタン |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 軍手・マスク | <input type="checkbox"/> 保険証の控え |
| <input type="checkbox"/> 携帯食 | <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> 数日分の着替え |
| <input type="checkbox"/> スマホ・携帯バッテリー | <input type="checkbox"/> 救急セット | <input type="checkbox"/> 保温アルミシート |
| | <input type="checkbox"/> 水(飲用・生活用) | <input type="checkbox"/> レトルト・乾物 |
| | <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー | <input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル |
| | <input type="checkbox"/> ゴミ袋 | <input type="checkbox"/> キッチンバサミ |
| | <input type="checkbox"/> 保存のきく食品 | <input type="checkbox"/> バケツ・タライ |

な防災」について考える

女性の視点を
活かした備え



の防災の備えとなります。自分たちにできることから始めよう！！

寝室の安全がいのちを守る

～寝室に危険がないかチェックしてみよう～

家具は寝ているところに倒れてこないように配置する

寝床の頭上には落下の危険があるものを置かない

家具は出入り口を塞がない配置にする

ガラスに飛散防止フィルムを貼る

厚底スリッパを用意する

就寝時にカーテンを閉める



家具は固定する



市の補助制度 ①

家具転倒防止器具取付サービス

▶家具を5台まで無料で固定

和ダンス・洋服ダンス・食器棚・テーブル・冷蔵庫・本棚など家具を5台まで無料で固定します。
※自己負担がかかるものもあります。

市の補助制度 ②

感震ブレーカー等設置推進事業補助金

▶感震ブレーカー設置費の一部を助成

南海トラフ巨大地震などの地震による通電火災から、「家」「地域」を守るため、感震ブレーカーの設置費用の一部を助成します。

安くて便利な日常アイテムが防災グッズに変身！

100円均一編

1 給水タンク

釣りやキャンプなどに使えるタンクは災害時の飲み水の調達に。使わない時はコンパクトに折りたためるものも。



2 エアー枕

電車や飛行機の移動に便利なエアー枕は、車中泊をしなければならないときに疲れを和らげてくれます。



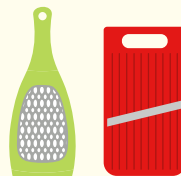
3 ソーラー式ライト

ベランダや庭に置いておくだけで夜や停電時に自動で点灯。電池が要らないのでとても便利で、防犯対策としても効果的。



4 スライサー

千切り・スライス・おろしなどに使える便利な調理器具。包丁とまな板を使わないため、貴重な水を節約することができます。



推薦文庫の紹介

全災害対応！子連れ防災BOOK
1223人の被災ママパパと
作りました



被災ママパパの体験談を伝えながら、本当に必要な防災を徹底追及し、無理なく、家族で楽しみながら行える「アクティブ防災」を提唱。

著：NPO法人ママブラグ 出版社：祥伝社

アウトドアで
防災BOOK



あなたの愛用品がきっと災害時役立つ！アウトドア初級者をメインターゲットに、防災について考えるきっかけを提供する一冊。

出版社：柘出版社

みんなが働きやすい職場づくりに向けて！

「女性活躍推進企業セミナー」を開催しました。



企業の成長戦略としての女性活躍と働き方改革を進めるうえで、その必要性を理解し、具体的な手法を学び実践することが大切です。事業所における女性活躍及び働き方改革の推進を目的に『女性活躍推進企業セミナー（5回シリーズ）』を開催しました。

基調講演 「女性が活躍できる組織＝健全に成長し続ける組織」を作る

実践研修

第1回 個人の成功体験や属人的スキルに依存しないマネジメント

第2回 育児や介護が制約にならないチームづくり

第3回 「職場の問題かるた」ワークショップ研修

成果発表会

「地域企業×女性」の成功モデルをつくろう！
～働き方改革と女性活躍で強い企業をつくる～

2社の取組事例がモデルケースとなり
波及することに期待！！

登壇企業

●有限会社新日邦（藤枝市）

本社部門における見える化、言える化

～取組内容～

○Slack（※）の導入

⇒「効果」問題が言語化され課題が明確
情報をオープン化し、景色合わせが可能
組織の課題として捉えることができる

○社長を交えてのZoom会議の開催

⇒「効果」経営層も含め課題の共通認識が可能
（※）コミュニケーションを図るためのビジネスチャットツール

●アステラスファーマテック株式会社（焼津市）

女性目線から考える働きやすい

職場改革プロジェクト（部門を超えたネットワーク活動）

～取組内容～

○社内広報誌の作成

⇒「効果」部門間コラボレーションからイノベーションの創出
話すきっかけが景色合わせ（問題共有）に繋がる

○経営陣×育児時短者の座談会の実施

⇒「効果」交流から生まれる相互理解と協力体制の構築



藤枝市男女共同参画に関する

市民意識調査

調査対象：藤枝市内在住の18歳以上の男女

調査期間：令和2年8月6日～9月11日

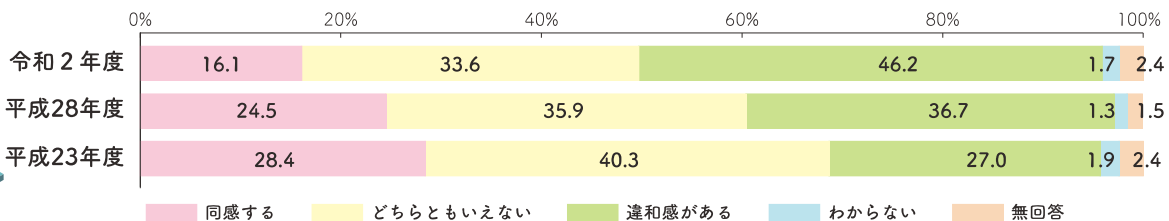
調査方法：無作為抽出による郵送調査

発送数：2,000件

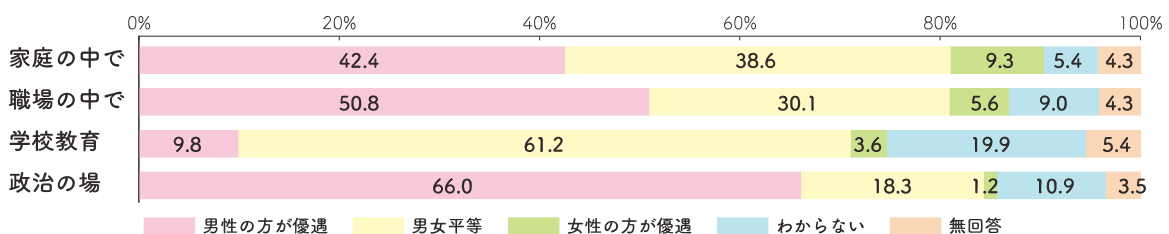
有効回収数：743件（回答率37.2%）

※ 調査結果は市のホームページに掲載しています。

「男は外で働き、女は家で家庭を守る」という考え方について



各分野での男女の平等度について



藤枝市の男女共同参画推進事業所の紹介

松葉倉庫株式会社

認定日 令和2年3月19日

従業員 グループ全体96人（女性45人）（うち藤枝本社56人（女性33人））

「人々の暮らしを支える」「地域社会との共栄共存・責任」を企業理念に、地域に密着した物流サービスを提供しています。平成30年4月に企業主導型保育園を開園し、出産後も働き続けられる環境の整備に取り組んでいます。



●働くお母さんを応援！働きやすい職場づくり

- 女性の働き方を応援するため、本社に併設した企業主導型保育園「まつの実」を開園。出産後も働き続けること、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。
- 保育園が隣接しているため、安心して働け、送迎も便利です。
- 松葉倉庫との提携企業や一般市民も子どもを預けることができ地域支援に繋がっています。



●職業に注目した健康経営

- ドライバーの腰痛問題解消のため、整体師による腰痛セミナーを定期的開催し、個別施術も社内で行っています。
- 健康増進BANK制度の創設。日頃から自らの健康増進のために行う運動習慣、生活習慣をポイント化し、ポイントに応じた奨励金（クオカードなど）を配布しています。

●保育施設を利用した親子体験講座の実施

- 食育、ベビーマッサージなどをテーマにした講座を開催し、知識習得に加えて保護者同士の情報共有、情報発信の場を提供しています。
- 近隣地域の女性起業家さんとの連携を通じ、その方の活躍の場ともなっています。

株式会社飛鳥エンタープライズ

認定日 令和2年3月19日

従業員 28人（女性7人）

鉄鋼業として、より質の高い製品・技術を提供できるように、常にフレキシブルな対応を心がけています。一人の困難を全員で解決する仲間意識を持ち、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革にも積極的に取り組んでいます。



●女性目線を取り入れた職場環境づくり

- 水素水の導入や足下ヒーターの完備など女性ならではの目線で、働きやすい環境を整備。
- トレーニング機器も完備し、休憩中のリフレッシュや健康に働くための取り組みを実施。

●多様な働き方の実現、なりたい自分になるために…

- 女性従業員の仕事内容は経理のほかにも、本人の希望により、積算や製図等専門分野も担当。その際は、資格取得などの経費は会社が負担しています。
- 大型パーツを製造は、パーツの重量が重いため、女性でも扱える軽量パーツの受注も検討し、女性の働く部門を広げていることを考えています。



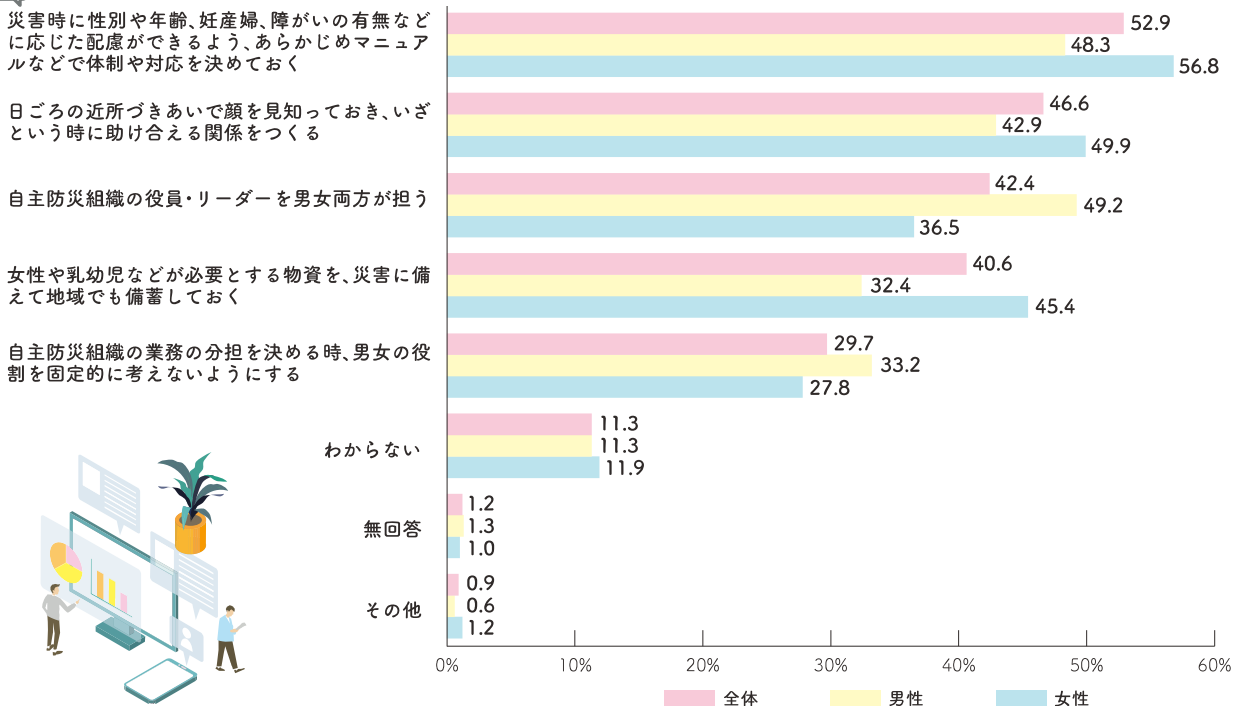
●働きやすい職場づくり

- 有給休暇は積極的にとることができます。女性従業員の有給休暇の取得率は、ほぼ100%。
- 子育て経験者が多いため、お互いに関わり合え、働きやすさに繋がっています。

●業務効率化からプライベートの充実を実現

- 取引先や下請け業者への連絡は、用件をまとめて送信することで、事務の効率化とワーク・ライフ・バランスの実現に繋がっています。

男女共同参画の視点を防災に生かすために重要だと思うこと



女性防災リーダーが活躍する チャンス到来

私はファシリテーターという仕事の傍ら、東日本大震災を機に被災地の支援活動を続けている。被災地では避難所の班長会議から、大人数の情報共有会議などの進行をサポートしている。他にも、泥かき、炊き出し、支援物資の提供、足湯、イベント開催など支援活動は多岐にわたる。しかし、今年のコロナウイルスはこの活動に大きな打撃を与えた。基本的に被災地へ県外からの支援者が入れなくなったからだ。現在は、被災地での多くの会議がリモートで開催されていて、私も自宅からリモートで会議支援をしている。

しかし、コロナウイルスは悪いことばかりを運んでこなかった。地域で女性の防災リーダーが活躍するチャンスが生まれているのである。災害支援や防災活動に関わっていると、女性のみなさんから「女性の視点の防災訓練を地域の役員に提案したけど受け入れてもらえなかった」「地域の自主防災会の役員が男性ばかりで意見を言える雰囲気ではない」などの相談を受ける。地域での防災組織はがっちり決めていて、女性が防災訓練などへの提案をするのが難しいことが多い。また、リーダーもトップダウン型がまだ多くを占めている。

このように女性防災リーダーが地域で苦戦している中、

特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会フェロー
鈴木 まり子

鈴木まり子ファシリテーター事務所代表。特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会フェロー。浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク（はままつnanet）事務局長。法政大学非常勤講師。浜松市在住。



今年はコロナウイルスの影響で多くの防災訓練や勉強会、会議などが中止になった。しかし、災害は待ってくれる訳ではない。そこで各地でリモートでの会議や勉強会へのチャレンジが始まった。静岡県内でも、防災がテーマのリモートでの会議進行や勉強会の依頼が増えた。そして、そこに積極的に参加してくるのは女性である。まだ小さな子どもさんがいる防災ママから、80歳を超えた災害ボランティアコーディネーターの方まで、スマホ、タブレットを駆使して参加してくる。介護をしている女性も自宅からは参加できる。

こうして、リモートでのテクニカルスキルを身につけた女性たちが、地域の高齢男性役員をサポートし始めている。リモートという道具を手に入れたことにより、女性の発言力もアップしている。女性の防災リーダーによるリモートでの防災教室も開催されている。防災教室といっても会場を予約する必要もない、案内もメールである。より気軽に防災活動が始められるようになった。

今年5月には、内閣府が「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を公表しました。これをチャンスに女性防災リーダーが地域でますます活躍することを期待している。

編集後記

今回編集に携わる事で、地域防災について現状抱えている問題やその対策などを考える良い機会となったので、今後活かせればと思います。女性の視点というワードが色濃く出てくるのは、実際の現場で能力や適性ではなく、性別で役割や基準を判断してしまっているのでしょうか。性別による優遇だ、虐げだと言わないような日はくるのでしょうか・・・

木村 真輔

コロナ渦で日常が変化した。編集会議の回数も減り、テーマの防災訓練中止。講演会、取材も危ぶまれたが何とか発行にこぎ着けた。協力すれば難関突破。

講演、取材、座談会でお会いした方々は、世の中に希望と明るい未来を見だしていた。それらを皆様に情報誌として届けたい。共に学んだ編集委員の仲間へ感謝。

嶋尻 俊江

情報誌「Run らんらん」は、市民から公募した編集委員が企画・編集しています。

藤枝市はこれまで大きな災害に遭わずにきていることから、防災への備えは甘いと自分自身思っている。きっちり備えなければと思う一方、家庭で大きな備えは大変だとも思う。今回の特集で、「防災への備え」は日頃の生活の中にこそあると気づいた。女性目線を意識して家の中や周りを見直し、日ごろの生活に生かしていきたいと思う。編集会議で、様々な視点から考える機会を得ることができたことを感謝している。

酒井 暁美

防災訓練だけでは知る事の出来なかった日頃からの備えについて多くの事を学びました。

それぞれの視点からのアイデアや工夫など、これを機に家族で話し合う事が大切だと感じました。

Runらんらんを通して、みなさんが防災について、もう一度考え直すきっかけになれば嬉しいです。

増田 恵理

編集委員 木村 真輔/酒井 暁美/嶋尻 俊江/増田 恵理

女性のための相談室

自分のこと、夫婦・家族のこと、仕事のこと・・・
ひとりで悩まないで相談してみませんか？
女性カウンセラーが、あなたと一緒に考えます。

相談予約電話番号
(藤枝市男女共同参画・多文化共生課)

054-643-3198

電話・対面
どちらでもOK

相談日 毎週火・木曜日
13:30～16:30
(相談時間は1人45分)

場所 藤枝市役所内相談室
「女性のための相談室」



男女共同参画社会づくり情報誌

Run らんらん

No.23 2021.2.20

Runらんらんのご感想をお聞かせください

藤枝市男女共同参画・多文化共生課
〒426-8722 藤枝市岡山1丁目11番1号
【TEL】054-643-3198 【FAX】054-643-3327
【E-mail】danjo@city.fujieda.shizuoka.jp

